

取組概要

直川中学校では、「ふるさとを愛し、夢を持って未来へ踏み出す力を持った生徒の育成」を目指し、基礎学力、表現力、主体性の育成の3つの柱に基づき、個に応じた支援を組織的に展開している。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆各教科等の授業におけるまとめ・振り返りの記述を丁寧に見取り、個に応じた支援につなげる取組を進めている。
- ◆「深く考え、表現する力の育成」に向けて各学年が定める表現力の到達度を定め、生徒が自分の思いや考えを述べる場、多様な他者に向けてプレゼンテーションする場を設定している。
- ◆各主任を中心に会議・分掌・行事等の見直しを行い、学校運営を効率化し、働き方改革にもつなげている。

働き方改革の工夫

- ◆教頭、教務主任を中心に、週予定等や会議内容及びスケジュール等をの周知し、見通しをもった提案や業務遂行ができるよう進捗管理することにより、月一回の諸会議を持たない水曜日を設定したり、教職員が自身の業務を集中して遂行できるフリーワークタイムを導入したりしている。このことにより計画年休を取得しやすくしている。
- ◆会議の開催に当たっては、協議が必要なもの・連絡で済むもの等に分類し、効率的に開催できるよう進行管理している。

授業づくり等の工夫



自分の成長や目標を自覚・共有する取組

学校として大切にしている 振り返りの視点・学習スタイル

